

令和6年度第3回始良市地域公共交通会議 議事録

記録者 瀬戸口 健人

日時	令和7年1月24日(金)	時間	14時00分～14時50分
場所	始良市役所本館3階 大会議室		
出席者	<p>委員(出席者数23人、欠席者数6人) 湯元委員、榊委員、森山委員【代理出席】、堀ノ内委員、井之口委員【代理出席】、林委員【代理出席】、本山委員【代理出席】、佐藤委員、田村委員、依光委員、若松榮二郎委員、小城委員、野口委員、古市委員、折田委員、鈴木委員、柳鶴委員、宮崎委員、今別府委員、松岡委員、上脇委員【代理出席】、若松耕市委員、享保委員【代理出席】</p> <p>事務局 地域政策課</p>		
議長	会長 湯元 敏浩(始良市長)		
資料	・事前配布資料 ・令和6年度補正予算概要について(鹿児島運輸支局説明用)		

会議内容

(会次第)

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

【報告事項】

①始良市コミュニティバス利用無料月間報告について【資料1】

事務局より報告。

⇒質疑なし。了承。

②イベント開催等に伴うコミュニティバス迂回路運行について(2件)【資料2】

事務局より報告。

⇒質疑なし。了承。

③始良市地域公共交通計画の令和 5 年度事業評価について【資料 3】

事務局より報告。

⇒質疑なし。了承。

【協議事項】

①令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)に関する事業評価について【資料 4】

事務局より、協議事項①について資料4に沿って説明し、承認を求めた。

(質問:榊委員)

表中「⑤目標・効果達成状況」の項目について、あいら交通が運行する上名地区予約型乗合タクシーは目標を達成しているが B 評価となっている。A 評価ではないのか。

(事務局回答)

ご指摘のとおり目標を達成しているため A 評価である。運輸局には修正して提出する。

②令和 7 年度始良市地域公共交通会議予算(案)について【資料5】

③令和 7 年度始良市地域公共交通会議推進計画(案)及び令和 7 年度始良市地域公共交通会議事業計画(案)について【資料6】

事務局より、協議事項②～③について資料5及び資料6に沿って説明し、承認を求めた。

(質問:堀ノ内委員)

令和 7 年度始良市地域公共交通会議予算(案)について、前年度の歳入額及び歳出額はともに 401,000 円となっているのに、なぜ 7 年度予算(案)に繰越金があるのか。

(事務局回答)

年度末に精算した際に、事務費や事業費で発生した残金を翌年度に繰り越すため、現状は繰越金について仮で計上している。委員にお配りしている資料は、あくまで 6 年度当初予算と 7 年度予算(案)を比較するものである。

④蒲生地区巡回バス(米丸・柵野線)の林道柵野線入口バス停の移設について【資料 7】

事務局より、協議事項④について資料7に沿って説明し、承認を求めた。

(質問:榊委員)

バス停移設に路線延長や、バス転回場所の変更も含めて片道約 700m、往復で約 1,400mの路線延長となるが、時刻表に変更はないのか。

(事務局回答)

南国交通株式会社の担当営業所長と現地にて確認を行った際に、営業所長から、今回のバス停移設については、時刻表は変更することなく運行できるということで回答があった。

(林委員より説明)

本社としても、営業所から時刻表変更の必要はないと連絡を受けている。

(榊委員)

了解した。ただし、時刻表通りの運行のためにスピードを出して事故を起こすような事態はあってはならない。安全に運行することが可能か等について、再度検討し、必要であれば時刻表変更も行っていただきたい。

4 その他

(榊委員より連絡)

国においては、令和6年12月に令和6年度補正予算が成立した。目玉事業として、「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトがある。メニューの1つである「交通空白」解消緊急対策事業は、「交通空白」解消に向けた、公共ライドシェア・日本版ライドシェアやAIデマンド、乗合タクシー導入等に新たにに取り組む場合に、その費用を支援するものである。共創モデル実証運行事業については、官民共創、交通事業者間共創、他分野共創により取り組む事業の費用を支援するものである。

他にも、インバウンド誘客に新たにに取り組む地方部等において、「日本版・公共ライドシェアの導入」等により、観光地における二次交通確保に取り組む際の費用を補助する訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業もある。こちらの事業は、AIオンデマンドや乗合タクシーの導入は補助対象外となる。

加えて、令和6年11月25日から「交通空白」解消・官民連携プラットフォームが発足している。こちらは、プラットフォーム会員となった「交通空白」に関するお困りごとを抱える自治体や交通事業者と様々なツールを持つ企業又は団体をマッチングさせ、「交通空白」の解消を目指すために発足したものである。公募期間は令和7年2月24日までとなっている。プラットフォームへの加入が「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトの補助事業を活用するための条件となっているため、補助事業の活用を検討している場合は、官民連携プラットフォームへの加入についてもご検討いただきたい。

(本山委員より連絡)

自主運行路線(鹿児島交通(株))について、鹿児島中央駅～自動車試験場の路線はこれまで往復で運行していたが、令和7年4月以降、鹿児島中央駅から自動車試験場までの片道での運行となり、自動車試験場から鹿児島市方面に戻るバスは廃線となる。また、国分～鹿児島市間を運行するバスについても4月から1便減便を予定している。高速バスについても指宿～鹿児島空港間のバスが現状4往復しているが、減便になる可能性がある。始良市のコミュニティバスについては減便等の予定はないが、いずれ減便についても検討しなければならない可能性もある。

(林委員より連絡)

鹿児島市内を運行する路線バス(南国交通(株))において、クレジットカードでの決済システムを導入した。利用開始時期は、令和7年2月3日から。始良市においても、蒲生から鹿児島中央駅まで運行するバスは、この決済システムが導入されている。今後は決済システム導入後の収支状況を踏まえて、鹿児島市以外のエリアについても導入を検討していきたい。

5 閉会